

手順書：その他の対応 1

避難生活の長期化に備え、各種対応の準備を検討する。
災害関連死を防ぐため、避難所環境の改善に努める。

①電源の確保

長期停電に備え、電源を確保する。特に医療機器用には優先的に供給する。日中はなるべくエンジン式発電機を用い、蓄電池は夜間用に確保し、日中はソーラーパネルで充電を行う。

②照明設備を整える

夜間は事故や防犯のためにも照明設備を用意する。トイレや授乳室等への動線にも適宜照明を置く。施設照明が利用不可なら投光器や懐中電灯を準備する。不足する場合は支援を要請する。

③モバイルルーターの用意

避難所に備えてある災害用モバイルルーターを起動して通信環境を確保し、避難者の情報収集を支援する。



④特設公衆電話を設置

避難所に備えてある災害時用特設公衆電話を設置し、動作確認を行う。特設電話は、各施設の事務室や職員室等に備えてある。



⑤水を確保する

避難生活の長期化に備え、水の確保を検討する。賞味期限が過ぎた飲用水は生活用水に回す。その他、施設の受水槽や消火栓からの給水、携帯型浄水器による雨水等の活用を図る。

(裏面に続く)

手順書：その他の対応 1（続き）

避難生活の長期化に備え、各種対応の準備を検討する。
災害関連死を防ぐため、避難所環境の改善に努める。

⑥喫煙所の設置

必要に応じて喫煙所の設置を検討する。
場所の選定は施設管理者へ協議を行う。



⑦ペット同行避難への対応

屋外に係留場を確保する。避難所としてペット用屋内スペースを確保できる場合には、ケージ持参を条件に一般者と分けて受け入れる。獣医師会と協定を結んでいるので、救援を依頼する。

⑧ボランティアの受入

村にボランティアセンターが設置された場合には、ボランティアの受け入れを検討する。必要に応じて支援を要請する。

⑨防犯対策

防犯対策担当を複数人選任して定期的な巡回を行い、避難所内の安全を確保する。犯罪の要因となる場所や人等を見つけたら、運営委員会で協議し改善を図る。